

東京農業大学校友会静岡県支部総会・教職員部会設立総会開く ～農友会マンドリン部 OB・OG 会の熱演も～

東京農業大学校友会静岡県支部

東京農業大学校友会静岡県支部（糠谷禎則支部長：S50 農工・静岡市）は平成 29 年 11 月 25 日、教職員部会設立総会、支部総会及び校友の集いを、沼津市の「ふじのくに千本松フォーラム」で開いた。

同支部は昭和 39 年に設立、3 年越しの昭和 43 年 2 月 4 日に静岡市内で開かれた第 1 回総会には県内各地から 200 人余が終結し、東京から駆けつけた校友会幹部から「全国的にも白眉」と激賞された（当時の校友会ニュースより）という。

その後は不定期な活動が続いたが、平成 15 年度から県内を 3 地区に分けて、隔年・輪番での総会開催を続け、平成 26 年 2 月には女性部会を設立するなど、母校の発展と校友の活躍を支援・協力、地域貢献を目指して活動をしている。この日は、前回の 50 周年記念を上回る約 160 人の校友が参加した。

県内の現職教職員約 120 人のほか、多くの教職員経験者が切望していた教職員部会は、全国 41 番目の設立となった。発起人代表の静岡県立静岡農業高等学校校長の竹川暢昭氏(S57 経済・菊川市)が、この日に至るまでの想いを込めて挨拶し、校友会副会長の小泉幸道名誉教授(S48 醸造)が祝辞を述べた。設立承認、会則、事業計画・予算等の議案が承認されたほか、役員選出では、会長に竹川氏、副会長には望月康弘氏(S62 農学・磐田市)と是永博基氏(S62 畜産・焼津市)など 9 人の役員が選任された。

続いて開かれた支部総会は、東部分会の事務局長を務める光林治氏(S55 造園・沼津市)の司会で進められ、学校法人東京農業大学財務部長の手島秀樹氏(S57 農学・沼津市)からは大学の近況報告もいただいた。議事では、平成 29 年度事業報告・決算、平成 30 年度事業計画・予算案が原案通り承認された。

総会アトラクションとして、農友会マンドリン部 OB・OG 会による演奏会を企画した。今も全国各地で活動を続ける 20 代から 70 代まで 30 人余のメンバーがこの日のために結集。NHK「100 分 de 名著」のテーマを演奏するプロのキーボード奏者、菱本幸二氏(S61 造園)とともに、国内外のスタンダードナンバーをはじめ、懐かしのヒット歌謡から AKB 48 まで、幅広いレパートリー十数曲を熱演した。特にアンコール曲の学歌や蒙古放浪の歌では、多くの校友が目頭を熱くしながら口ずさんでいた。この企画は、昨年 9 月に世田谷キャンパスで開かれた「東京農業大学校友世界大会 2016 in Japan」でのマンドリンクラブの演奏に感動した糠谷支部長が県支部の役員会に提案して賛同を得て大学にオファーしたところ、OB・OG 会の来静として実現したもの。「初めての企画だったが、同クラブ出身の新たな校友が参加してくれるなど期待以上の成果があった」と糠谷支部長は話す。

総会後に開かれた“校友の集い”には 130 人が出席。東部分会の稲木浩之会長(S44 農化・沼津市)の挨拶の後、静岡常磐松会の松本肇会長(S43 農化・静岡市)の音頭で乾杯。12 のテーブルでは和やかな交流が始まり、宴がすすむにつれて交流の輪が広がった。結びは、元全学応援団の久保田啓作氏(H22 農農・沼津市)のリードで

学歌を斉唱。次期総会の開催地区、遠州常磐松会の福井啓介会長(S35 造園・浜松市)の挨拶で2年後の再会を誓い合い散会した。